

日本共産党

ひめだ高宏三一文

No. 99

11.3.9

3・7日本共産党演説会 800人

3月7日(月)ダイワロイネットホテルの日本共産党演説会で、県議2人市議6人の候補者に続き、井士の市田党書記局長が全員当選を訴えました。

福祉・くらしを守る県政市政を



市田 忠義 書記局長
中野 邦子 議員候補
松本 大輔 議員候補
渡辺 由起 議員候補
山下 尚也 議員候補
森下 尚也 議員候補
藤井 典子 議員候補
左から



市田 忠義 書記局長
県議候補

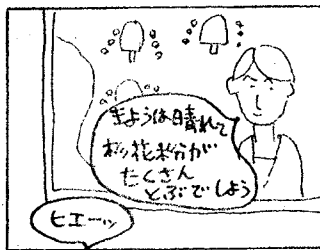
市田忠義党書記局長は、民主党政権が法人税減税を打ち出す一方、社会保障を切り捨て消費増税や関税

を撤廃するTPPへの参加を表明していることを批判、普天間基地移設での異常な対米従属の実態を告発しました。内需拡大こそが経済再生の道だとし、農業を基幹産業とし、雇用と賃上げ、社会保障の充実など日本改革の方向を示しました。

県政については、中核市第3位の高さになっていく国保料の引き下げが緊急の課題となっていると指摘。コスモパーク如太のトマト菜園への借地料補助や住金融立地のLNG火電のための防波堤建設などの費用を削るべきだと主張。県議会で共産党以外の会派が知事の提案に何でも賛成し議会の

フリーの人々

<642>



の役目を果たしていないことを批判しました。税金を県民の福祉のために使うのか、ゼネコンや大

こんにちは

県議員の
ふじい 健太郎
です。
(その286)

企業のために使うのか、問題わねていと述べ、和歌山市で県議2、市議6の全員当選を訴えました。

るための方針と計画を持つように提案しました。昨年度の発注割合は77%で全国32位です。

もう一つは、リフォーム助成制度の創設です。個人住宅の改修に対して県内事業者が工事をした場合に工事費の一部を補助する制度で、リフォーム工事を促進する役割が期待できます。いずれも地元業者の仕事づくりとなり、所得と雇用の拡大に結びつけることができ

ます。実現に向け運動をすすめていきます。



ふじい 健太郎 議員
県会議員

化を求めました。その一つとして、県が発注する物品や工事などの公共調達を県内中小事業者への発注割合を高め

くらしの 要求アンケート

日本共産党が和歌山市で取りくんでいる「くらしの要求アンケート」の要求項目で、〇印がついたものは、①国保料の負担軽減(64%)、②介護保険の負担軽減(60%)、③若者の雇用対策(54%)、④特養ホームの増設(38%)、⑤空き店・跡活用、⑥商店街活性化(32%)、⑦地場産業、中小企業の振興

2月末で788通届

(29%)、⑦支所・連絡所の窓口業務の継続(28%)、⑦生活密着型、地元優先公

ひめだ高宏事務所だよ

塩屋4丁目2-13に、ひめだ高宏事務所を開いて、1カ月が過ぎました。ようやく交替で事務所につめる体制(主に午後から夕方)もできました。この間、海南からヒラマキの応援も来



共事業(28%)、④道路・水路・河川の整備(26%)、④子ども医療費の無料化の拡大(26%)となっています。

こんにちは 日本共産党



TPP(環太平洋連携協定)参加反対の大きな垂水幕が、美園町の農協会館に掲げられています。JAは、全組織をあげて「1000万人署名」運

動をおこなって、反対の声を広げています。

政党でTPP反対を明確にしているのは日本共産党だけですが、マスコミの論調が最近少し変化してきています。「TPP交渉への参加 日本有利が不可能なわけは」12/3「毎日」、

「実態は日米間のFTA」12/4「毎日」夕刊、「

「反TPP」39道府県で意見書」12/22「朝日

など、反対意見もふくめたさまざまな報道が、おこなわれるようになってきています。

地方選挙でも大きな争点にして、国民の食料や安全を守る本当の政党が日本共産党であることを知ってもらいます。

3.7 演説会

私・ひめだの決意表明

「今度こそは当選してよ」大勢のみなさんの後押しで、元気いっぱい頑張っています。朝の宣伝では子どもから大とほまで応援してくれる人がだんだん増えて訪問ではいろいろと要求が出されます。



ひめだ高宏です。

「私には死ぬと言うんやな」こんな哀しいことは、何人もの方から聞きまし。まじめに生きて年老いた人を大切にしない政治は、若い人や子どもも大切にできません。私は、年をとっても障害があっても誰もか生き生き暮らせる市政をめざします。全力を出し切って何としても当選する決意です。どうかよろしくお願います。

ふじい農業 インドマイク宣伝

農作業中のおじさんが

3月5日(土)ふじい健太郎県議と一緒に、杭ノ瀬で2つの署名と演説会のお知らせを中心にハンドマイク宣伝を行いました。鶴田元県議が国保引き下げと子どもの医療費無料化の拡充の2つの署名で各戸を訪問してくれました。

おじさんが「国保の引き下げより固定資産税の引き下げをしてほしい」と声をかけてくれました。農地が宅地並み課税となつて、いるため農作物の売上から機械の費用など払うと赤字になつて、いると切実な訴え。党の政策を話し、アンケート用紙を渡しました。